

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り 暮らしています	施策 主管課	公園緑地課	施策主管 課長名	阿部 信也
	施策No.	5	施策名	花のあるきれいな まちづくり	施策の 目指す姿	身近な暮らしの中に花が取り入 れられ、清掃が行き届いています	関係課名	生活環境課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動を支えてきた花壇実践者の高齢者と減少が進んでいます。</li> <li>市民総参加早朝一斉清掃など、地域の美化運動に参加している市民の割合は横ばい（市民アンケート）と伸び悩んでいます。</li> <li>既存公園の維持管理が十分でないとの意見から、市民の満足度が低いことがうかがえます。</li> <li>公園トイレの水洗化を下水道事業と連携し進めるとともに、高齢者や生活様式の変化に伴い洋式化への要望があります。</li> <li>墓地継承者の不在等により、市営墓園の中には管理が行き届いていない墓地があります。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花壇づくりや花いっぱい運動の実践者の育成を図るため、花づくり講習会の開催と花壇見学ツアーによる意見交換などを通して実践者の育成を今後も進める。</li> <li>市民総参加早朝一斉清掃について、公衆衛生組合連合会と連携して周知を図るとともに、参加を呼び掛けていく。</li> </ul> <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度に花いっぱい運動を広く周知するため「花巻市花苗配付事業のご紹介」チラシを配布した。また、実践者の育成については、平成30年度において「花苗配付ガイドブック」の作成や「花苗供給業者による講習会」等を新たに実施し、情報発信や実践者のフォローアップに取り組む。</li> <li>公衆衛生組合連合会と連携し、地域への呼びかけを行ったほか、市内小中学校を通じた生徒等への参加呼びかけやアパートの管理会社を通じてアパートの入居者への参加呼びかけを行った。</li> </ul>
--

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 美化意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動の推進 ・花づくり講習会の開催、花壇見学ツアーの開催</li> <li>花壇実践団体への支援 ・花壇実践登録団体へ夏花苗のほか秋花苗の供給を行い、地域の美化推進を図った</li> <li>大規模イベントにおける花いっぱいのおもてなし ・「花と緑のまつり」開催に係る経費を補助</li> </ul> <p>(2) 環境衛生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内一斉清掃の参加促進・早朝一斉清掃の実施により市内の美化推進及び参加意識の向上を図った</li> <li>河川清掃活動の参加促進・河川の美化推進を図るため、活動支援を実施</li> </ul> <p>(3) 公園環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園および緑地の整備、維持管理 ・公園施設整備、公園のトイレ清掃、草刈り、遊具の点検、施設の修繕補修等を実施</li> <li>公園トイレの水洗化および洋式化・公園トイレの修繕2棟</li> </ul> <p>(4) 墓園、火葬場の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズに対応した市営墓園の適正な維持管理 ・墓参りが快適にできるよう墓園内の清掃、草刈り、除雪等を実施</li> <li>火葬場の計画的修繕と適正な管理運営 ・市営火葬場の管理業務委託、施設修繕の実施及び北上地区広域行政組合分賦金の支出</li> </ul>
---

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測 ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握す るのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
地域の中で花による美 化が進められていると 感じる市民の割合 (E-1)	花による美化推進の進捗 状況を示す指標	出典:市民アンケート 問:あなたは、市内の環境の保全に 関する次のことが守られていると 感じますか?次の中からあてはまる ものをいくつでも選んでください。 ①地域の中で花による美化が進め られている ②の選択者をカウント	%	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	66.0
				実績値	57.2	57.4	60.1	62.4		
住んでいる地域の美 化活動に参加している 市民の割合 (E-2)	清掃が行き届いた美しい まちづくりに向けた市民 の活動状況を示す指標	出典:市民アンケート(新規) 問:あなたはこの1年間に、次のよう な自然環境を守る行動をおこなっ たことがありますか、?いくつでもあ てはまるものに○をしてください。(1) 身近な水辺空間の環境保全 (2)野 鳥や生き物が住める環境づくり (3) 自然環境を守るための学習活動 (4)植樹などの森林の保護活動 (5) 住んでいる地域の美化活動 (6)そ 他(具体例) (7)何もしていない ※(5)選択者をカウント	%	目標値	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0
				実績値	53.8	56.0	54.0	69.9		
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「地域の中で花による美化が進められていると感じる市民の割合」・・・【達成度b】 花壇実践者に対する夏花苗の配布に加え秋花苗の配布を行うなど地域の花壇を中心に美化推進を図ったことから、目標値に届かなかったが過去の指標を上回ったものとする。</p> <p>■成果指標「住んでいる地域の美化活動に参加している市民の割合」・・・【達成度a】 目標値は上回っているが、賃貸住宅世帯数の増加等により、市民総参加による早朝一斉清掃の参加率は若干減少している。一斉清掃については、公衆衛生組合の協力を得ながら意識啓発を行っているところであり、地域の美化推進の取り組みが市民にも浸透してきたことにより、地域の環境美化意識の向上につながっているものとする。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	花と緑の創出事業 花と緑のまつり2017の開催(6月9～11日)支援、花いっぱい運動の展開、花と緑の会への補助等を実施 (来場者約26,000人、花壇実践登録件数(花苗供給を受けた団体・個人)346件)	公園緑地課	一致	直結	B
			A		
2	環境衛生活動推進事業 早朝一斉清掃(4月・6月・9月)の実施、衛生害虫駆除、花巻市公衆衛生組合連合会への補助等を実施 (早朝一斉清掃参加者:54,091人)	生活環境課	一致	直結	B
			A		
3	墓園管理事業(一般行政経費) 松園墓園、高木墓園、石沢墓園、東和墓園、舟田墓園の清掃、草刈り、除雪の実施	生活環境課	間接・ 少数	間接・ 補完	-
			C		
4	火葬場維持管理事業(一般行政経費) ・大迫斎場、石鳥谷斎場、東和斎場の業務管理委託及び施設修繕を実施 ・北上地区広域行政組合への分賦金の支出	生活環境課	間接・ 少数	間接・ 補完	-
			C		
5	生活環境保全活動推進事業 ・地域の河川環境の保全のため、地域の自治会等へ清掃を委託(委託件数:6自治会等) ・豊沢川活性化・清流化事業推進協議会の行う河川清掃への支援を実施(参加者:600人)	生活環境課	間接・ 少数	直結	-
			B		
6	公園整備事業 鳥谷ヶ崎公園防護柵改修、鳥谷ヶ崎公園西御門ライトアップ整備、星が丘3号公園のり面改修、公園トイレ塗装を実施	公園緑地課	一致	直結	B
			A		
7	公園管理(一般行政経費) ・地元の自治会等にトイレの清掃を委託(67か所)、草刈り作業の委託(85か所)、遊具等の点検(119か所)を実施 ・公園施設の修繕、補修を実施	公園緑地課	一致	直結	-
			A		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・花壇実践者の花壇の紹介や活動状況のPRを工夫する必要がある。 ・早朝一斉清掃の参加率向上のため、参加の呼びかけを継続して実施していく必要がある。 ・河川への不法投棄防止のため、看板設置や市民への啓発を強化する必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・花壇実践者となりうる団体に対し、支援する必要があることから花壇管理講習会を開催する。</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・花いっぱい運動の活動母体である「花と緑の会」の会員の高齢化と減少が進んでおり、会員の勧誘や若い世代の加入が必要となっている。 ・一斉清掃の参加者が固定化、高齢化している傾向があるほか、参加率も伸び悩んでいる状況があり、環境美化のためには今後も継続した参加を促していく必要がある。</p> <p>(今後の方向性) ・花壇づくりや花いっぱい運動の実践者の育成を図るため、花づくり講習会の開催や花壇見学ツアーによる意見交換などを行う。 ・市民総参加早朝一斉清掃について、引き続き公衆衛生組合連合会と連携して周知を図るとともに、参加を呼び掛けていく。</p>
--